

## 中川地区タウンミーティング開催報告

日 時	令和3年9月14日（火） 19：00～21：00
場 所	中川公民館2階 多目的ホール
参加者	【地域側：12人】中川地区連合自治会長、関屋自治会長、石経自治会長、湯谷口自治会長、志川自治会長、寺尾自治会長、明穂自治会長、中川地区婦人会長、民生児童委員中川支部、中川小学校PTA会長、丹原西中学校PTA会長、中川小学校長 【行政側：4人】市長、経営戦略部長、公共施設マネジメント推進室長、中川公民館
次 第	1 開会 2 挨拶（中川地区連合自治会長） 3 市長挨拶・事業説明 4 意見交換：テーマ「公共施設の集中化について」 ①中川小・丹原西中の統合 ②公民館・消防詰所・駐在所の小学校跡地への移転 （現状と課題説明及び参加者全員による話し合い） 5 まとめ・閉会

### 概 要

自治会長挨拶	本日は、中川地区の公共施設の統合化について、皆さんに議論していただきたいと考えている。また、市長をはじめ、市の方の見解等もお聞きしたい。
市長事業説明	・コロナウイルス対策については、ワクチン接種の安全安心な環境整備と、市民生活を取り戻すため経済対策に重点を置く。 ・西条市の将来推計人口は30年間で約28%減少（2015年 108,174人 ⇒2045年 78,307人） ・人口減少対策として移住推進に力を入れており、みんなで「共創」して持続可能なまちを実現していきたい。
テーマに関する説明（自治会長）	中川地区においても少子高齢化、人口減少が進んでいる。そのような中で、小学校と中学校を一つの学校にし、台風時に被害を受けた場所にある石経の消防詰所や公民館を小学校跡地に集約し、より安全安心な公共施設に再編していただきたい。 そういう思いから、このテーマを申し込んだ。統合には様々な問題があると思うが、そういう方向で行っていただきたい。特に私としては、中川地区に学校を残してもらいたい、という思いが強い。

#### 参加者の発言要旨

#### 市の発言要旨（及び対応）

<p>&lt;中川小学校と丹原西中学校の統合について&gt;</p> <p>子どもの数が減少しても、中川地区に学校を残してほしい。そこに通う子ども達の思いを大切にしなければいけないが、特色ある小中一貫校をつくり、校区外からの通学も可能にすれば、もっと活気ができ子ども達も楽しめるのではない。</p>	<p>非常に大切なテーマをいただいた。現在、市内には小学校が全25校ある。2030年には、<u>約10校が全校生徒70人以下【訂正】</u>という推計値である。このままで25校を維持できるのかどうか。学校がなくなると地域が衰退してしまうという懸念もあるだろう。この地域に学校を残すためには、中川小と丹原西中を統合する方法しかないのかな、という感覚である。</p> <p>四国中央市の新宮小中学校は山間部で過疎化が進んでいるが、小学1年から9年生という形で学校を整備し、校区外からも通えるバスを使用している。同じ校舎内で小学生と中学生が活動している。このような形で学校を残すことも良い。</p>
<p>&lt;一貫校のメリット・デメリットについて&gt;</p> <p>【小学校長】 小中一貫校における主なメリット・デメリットを把握しておく必要があるので、一例を挙げる。</p> <p>◆メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学1年から中学3年まで、独自の教育課程が組める。例えば、小学6年生のうちに中学校の学習を受けられる。</li> <li>・中学校に上がった時、不安定になること（中一ギャップ）が少ない。</li> <li>・中学生の先輩を見て小学生が育つ、1～9年生までの交流ができる。</li> </ul> <p>◆デメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9年間同じメンバーであるため、関係性がこじれると負担になる。</li> <li>・教育課程の違いから、中高一貫校に進学しづらい。</li> <li>・卒業式が9年後のため、節目の行事が少ない。</li> </ul>	

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
<p>&lt;部活動について&gt;  子ども達の中には「中学校では他校の子とも友達になりたかった」、「中学校での部活動の選択肢が少ない」といった声もある。  自分がしたい部活動ができないために、他の中学校に行ってしまう子がいるのは寂しい。部活動だけでも他校と交流できれば、もっと選択肢が広がる。  しかしながら、合同チームとなると毎日の練習ができず、活動時間が少なくなる。</p>	<p>皆さんのご意見は総じて、「地域に学校が必要」との同じ思いだった。中川地区で学校を残すには一貫校しか方法はないと思っている。  新宮小・中学校のように地域外の人を中川の方に来られるような流れは良いと思う。  ただし、次の段階では、田滝小学校や田野小学校をどうしようかという話になると思う。</p> <p>また、皆さんに一つお願いとして、別の地区で自治会長が交代する際、新自治会長に話が通じていないことがあった。自治会長が責任を一手に受けるのは非常にしんどいと思うので、皆がメッセンジャーとなっていていただき、交代時にはこういう議論があることを引き継いでいただきたい。</p> <p>部活動のことも非常に悩ましい。これが理由で学校を替えるというのは悲しい。子ども達へ一つでも多く選択肢を与えられるように、そして自宅から通えるように教育委員会と一緒に取り組みたい。</p>
<p>&lt;中川校区の小・中学校の特長について&gt;  1クラスの人数は少ないが、生徒一人ひとりに対して先生がきめ細かく見てくださる。また、地域の皆さんのおかげもあって、挨拶が出来る子ども達が多い。これが中川小・丹原西中の良いところで、我が子は「ここで同じメンバーで良かった、高校になれば新しい友達との交流も始まる」と言っていた。</p>	<p>&lt;丹原西・東中の統合について&gt;  小学校から中学校へ上がる時にいじめが起きてしまった場合、小中一貫校ではなく西中と東中を統合する方が、子ども達にとって良いのかなとも思う。</p>
<p>&lt;地域づくりでの活用について&gt;  学校関係の役員からは遠ざかっているが、小中学校の統合については、素晴らしい発想で、これからの地域づくりにも役立てられるのではないかと思う。健全育成に関しては婦人会でも協力したい。</p>	<p>&lt;一貫校の運用について&gt;  小中一貫校になっても、小学校と中学校それぞれに校長先生を配置していただくことは可能か。  入学式や卒業式は小中を通して1度だけでなく、小学6年、中学1年の節目でも実施してはどうか。  ⇒【小学校長】  小中一貫校のあり方として小学校・中学校の施設は一体型で共有するが、学校運営は独立という形もある。校長先生も2人いて、組織や職員室も別々にあるようだ。</p>
<p>&lt;跡地の利用について&gt;  西条市でも防災面や経営面を含めて、施設の統廃合を進めているかと思う。跡地利用する場合でも、建物がそのまま使えるとは思えないので、耐震のことはよくチェックした上で、前向きに進めていただきたい。</p>	<p>&lt;跡地の利用について&gt;  西条市には同規模自治体と比較して約1.6倍の公共施設がある。そのうち築30年を超えたものが55%あり、老朽化が進んでいる。  老朽化施設を引き続き使用する場合、学校等は、長寿命化計画を立て、順次工事を実施している。  市では40年で公共施設の延床面積を20%削減していくが、機能・サービスは低下させないよう「縮充」の概念で取り組む。</p>
<p>&lt;中川小学校跡地の利用について&gt;  少子化のため、市として中川地区の一貫校を考えていけば良い。  その上で、小学校跡地に消防詰所や公民館、駐在所を集約してもらいたい。人口減少により、各地区だけでなく中川校区全体で対応していくことになるだろう。その際に拠点となる施設にしたい。</p>	<p>&lt;公共施設の集約について&gt;  少子高齢化の時代で、公共施設を集約化するなら子育て世代・お年寄り・子ども達が一つの場所に集まり、交流が出来るような施設ができると良い。  小学校、中学校のみならず、中川で「生まれてから死ぬまで」一つのところに集められるような施設ができれば良い。</p>

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
<p>&lt;総合支所の再編について&gt;            丹原総合支所のサービスセンター化について、現在どうなっているのか。            丹原の自治組織は2市2町の中で少し性質が違う。合併前までは「区長」が地域と行政の繋ぎ役として、要望などを役所に繋いでくれていた。特に農林と土木の関係で相談などに行っていたが、サービスセンターではその部門が丹原なくなる。また、地理勘のない職員との協議になるのが不安である。</p>	<p>令和4年7月～8月から再編（サービスセンター化）を考えている。日常頻繁に使う業務はサービスセンターに残し、何年かに1回しか使わない業務は本庁に移す。どうしても本庁や東予総合支所へ行くことができないような場合は、職員が出向いて対応する。            とりわけ西の地域は農業が強いところで、余計に心配だと思う。土地勘に関しては、職員も勉強し対応できるようにする。</p>
<p>&lt;地域団体について&gt;            各種団体の会が中止になり、書面決裁のものが多くなったが、会の運営に支障をきたしていないことから、必要のない団体があるのではないかと思う。</p>	<p>コロナ禍での対応を通して、簡易な報告であれば書面で伝わるのがわかった。ただ、皆で意見交換等が必要な場合は、書面では不十分であり、今後も臨機応変に対応していくべきだと考えている。            また、各種団体役職の兼務が多い点では、地域の皆さんにご負担をかけていることを承知している。今後の地域のあり方を考えていくにあたり、地域づくり・地域自治組織の話を進めていただき、より良い方向を一緒に考えていきたい。</p>
<p>まとめ</p> <p>&lt;市長&gt;            非常に重要なテーマだが、皆さんから建設的なご意見をいただきました。西条市はチャレンジを応援するまちづくりとして、我々行政もチャレンジしていこうと言っている。皆さんの思いが一つにまとまるのであれば、我々はその後押しをしていく。            今年度最初のタウンミーティングであり、良いスタートが切れた。まだ整っていない点もあるが、市民の皆さんの声を大切にし、より良い中川地区、西条市にしていくためには労を惜しまない。お話をさせていただいたことを大切にしながら、前へ進めていきたい。</p> <p>&lt;連合自治会長&gt;            学校の統合については、いろいろ課題があると思う。それらを一つずつクリアし、複合化・集約化できれば、と思う。市長の前向きなお話をいただき、なんとかなるのではないかと考えている。皆さんのご協力をいただき、良い方向にいくようによりしくお願い申し上げます。</p>	

<当日の様子>

